



市川市立南行徳小学校 学校運営方針

学校教育目標

自分もみんなも大切にする子供を育てる
～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

めざす子供の姿

- ◎ 認め合おうとする子
- ◎ 自ら考え、表現しようとする子
- ◎ 心と体を大切にする子

めざす学校のすがた

- 「来てよかった」と思える学校
- 学校の教育目標に向かって、教職員と家庭、地域が同じ思いで子どもを育てる学校

めざす教職員のすがた

- 子どもとていねいに向き合う教職員
- 指導の工夫に努める教職員
- 心身ともに健康で、法令を遵守する教職員

具体的な取り組み		
認め合おうとする子	自ら考え、表現しようとする子	心と体を大切にする子
○多様性の理解（一人ひとりみな違う） ・多様な考えを生み出す授業 ・多様性を知る総合的な学習 ○認め合う場 ・多様な「出会い」の場を作る。（共同および交流学习、異学年・異校種交流・外部との連携） ○豊かな読書活動 ・読書を通じた多様な出会いを味わわせる（確実に朝の読書時間をとる。教員も読書を）	○考えを表現する言語能力 ・様々な考え方を知らせる。（一人・協働的・外部・本等による多様な場） ・思いを表現する語彙を増やす。（読書活動・ふりかえりや手紙を書く） ○探究的な学び ・個別最適な学び方を作る（ICT・多様な学びの場） ○主体的な学び ・自分の学びを自分でマネジメントする場を作る。（家庭学習確認週間、総合的な学習）	○心と体の大切さを知る。 ・特別活動、保健の学習を通して、心と体との関係性を知る。 ○自分を好きになる。 ・あらゆる場面で「大切にされる経験」を作る。 ○体を動かすことの楽しさを知る。 ・子供発心の体育的行事（委員会） ・体育学習の目標の一つとする。
「来てよかった」「通わせてよかった」と信頼される学校	家庭と地域との連携	子供とていねいに向き合う教職員
○一人一人に寄り添う支援 ・ユニバーサルデザイン化された環境 ・教育相談の充実 ・子供と対話する環境づくり ○生徒指導の充実 ・最適解としてとらえる生徒指導 ・いじめを許さない姿勢 ・いじめの未然防止、早期発見 ○安全安心な学校 ・危機管理体制の充実 ○教職員の学校運営参画	○学校を開く ・オープンスクール、保護者会の充実 ・保護者、地域への積極的な情報公開（外部講師招聘時、特別な活動時等） ○みなみっ子サポーター、地域との連携 ・積極的に学習や行事へ協力依頼 ・市川市無形文化財行徳神輿を南行徳の財産にしたいという地域の思い	○教職員が率先垂範し、生き方のモデルを見せる。 ・失敗は当たり前 ・あいさつ（コミュニケーションの始まり） ・協力し合う姿勢 ○心も体も元気でいられる職場環境 ・勤務時間、内容の見直し ・積極的な休暇取得促進